

令和元年度JAQG サプライチェーンマネジメント ハンドブック説明会について

1. はじめに

JAQG (Japanese Aerospace Quality Group) は、世界の航空宇宙業界における品質活動をリードするIAQG (International Aerospace Quality Group) に対応した国内組織として、2001年当工業会 (SJAC) 内に設置された。品質に関する国際統一規格の制定、認証制度の確立を図ることにより、品質改善とコスト削減を行うことを目的としている。2001年当初79社で設立したメンバー数も、現在では500社に達し、多くの方のご指導を受けながら活動を展開している。

ここでは、今年9月にJAQGメンバーに向けて開催した令和元年度JAQG サプライチェーンマネジメントハンドブック説明会の概要を紹介する。

2. サプライチェーンマネジメントハンドブック (SCMH) 概要

JAQGの主な活動は、航空宇宙分野の品質マネジメントシステム規格である9100規格

(汎用的な品質マネジメントの国際規格ISO9001に航空宇宙業界特有の要求事項を追加したもの。日本ではJIS Q 9100：2016年版規格として発行されている) の制定／普及、JIS Q 9100認証制度の運用と監視、品質保証に関するガイダンス・ベストプラクティスを提供することである。

SCMH (Supply Chain Management Handbook) は、IAQGで航空宇宙防衛産業のプライム企業が中心となって作成・維持している、サプライチェーン全体に向けた体系化されたガイダンス／トレーニング資料／ベストプラクティスをまとめた文書である。JAQGはSCMH開発に参画するとともに、その和訳版を作成し、組織のQMS向上に必要なベストプラクティスをJAQGメンバーに提供している。

3. サプライチェーンマネジメントハンドブック (SCMH) 説明会概要

SCMH説明会を、9月12日／東京、9月13日



森下 JAQG幹事長



説明会の様子（東京会場）参加者数：100名



説明会の様子（名古屋会場）参加者数：112名

／名古屋の2回開催し、2会場合せて200名を超えるJAQGメンバーの参加を頂いた。

SCMH説明に先立ち、森下 伸夫 JAQG幹事長（三菱重工業株式会社）より、参加メンバーへの挨拶、本説明会開催の趣旨説明が行われた。

説明会の概要を以下に示す。（説明順。（ ）内は報告者）

(1) SCMH WG活動説明（太田 茂雄 SCMH WG主査（住友精密工業株式会社））

本セッションでは、SCMH和訳版の公開状況、アクセス方法、JAQGが独自に作成した

ガイダンス文書・ハンドブック等の紹介を行った。



太田 SCMH WG 主査

(2) 合格表示媒体 (山本 潤太郎 SCMH WG
メンバー (株式会社 SUBARU))

合格表示媒体 (例えば、スタンプ、電子署名、パスワード等) の管理には、適切な権限を持つ個人によるタスクの合格、完了及び検証結果の文書化要求に関する全ての活動が含まれ、この管理を確立することが、JIS Q 9100認証を受けた全ての組織に要求される。

本セッションでは、合格表示媒体の管理プロセスに関する説明を行なった。



山本 SCMH WGメンバー

(3) リスクマネジメント (犬塚 智 SCMH
WGメンバー (三菱重工業株式会社))

各組織が効果的なリスクマネジメントを実行することを支援するため、組織内の全てのプロセスからサプライチェーンに至るまでの



犬塚 SCMH WGメンバー

製品ライフサイクル全体に対してリスクマネジメントを適用する必要がある。

本セッションでは、効果的なリスクマネジメントとその管理を実行するためのガイドラインを紹介した。

(4) プロジェクトマネジメント (太田 茂雄
SCMH WG主査 (住友精密工業株式会社))

プロジェクトマネジメントとは、体系化されたプロセスであり、成果を出すための優れた手法である。どのような会社及びいずれの部門でも使うことが出来る。

本セッションでは、プロジェクトマネジメントを理解するためのガイダンス及び実際のプロジェクトに合わせてユーザが改良可能な幾つかのテンプレートを紹介した。

(5) 先行製品品質計画 (服部 洋彦 SCMH
WGメンバー (三菱重工業株式会社))

本セッションは、SJAC9145規格「先行製品品質計画 (APQP) 及び生産部品承認プロセス (PPAP) に関する要求事項」について、各組織におけるAPQP (Advanced Product Quality Planning) への理解を支援することを目的とし、APQPの概要説明、各種成果物の作成に関する情報提供を行った。



服部 SCMH WGメンバー

(6) 質疑応答

本説明会では、セッション毎の質疑応答に加え、説明会開催中にネット上で参加者からの質問を受け、説明セッション終了後に回答した。又、閉会後にSCMH WGメンバーに対して個別に質問して頂くフリーディスカッションタイムを設けることで、参加頂いたJAQGメンバーとのコミュニケーション改善を図った。

説明会当日の配付資料のpdfファイル版、及び質疑応答について、JAQGメンバー専用ページに掲載しているのので、詳細は以下を参照されたい。

メンバー専用ページ

⇒ SCMH関連情報

⇒ 令和元年度 SCMH説明会



セッションでの質疑応答



ネットを介しての質問に回答するSCMH WGメンバー



説明会終了後、SCMH WGメンバーに質問する参加者

4. おわりに

以上、今年度のJAQG SCMH説明会について内容を紹介した。SCMH説明会はJAQGメンバーからの開催要望に応え、昨年度に引き続いての開催となる。説明会の両会場ともSCMHについて理解を深めていただくとともに、

活発なご質問、ご意見を頂戴した。頂戴したご意見は今後のJAQG活動の参考とさせて頂き、JAQGメンバー会社の品質向上、コスト低減への一助となるように活動を進めていく。

〔(一社) 日本航空宇宙工業会 航空宇宙品質センター (JAQG) 事務局 部長 前畑 貴芳〕